

みずほCustomer Desk Report 2018/04/24号(As of 2018/04/23)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.82 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.88	1.2274	132.39	1.4003	0.7660
SYD-NY High	108.75	1.2290	132.78	1.4030	0.7683
SYD-NY Low	107.67	1.2198	132.12	1.3928	0.7599
NY 5:00 PM	108.71	1.2209	132.70	1.3939	0.7605
NY DOW	24,448.69	▲ 14.25	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,128.60	▲ 17.53	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,670.29	0.15	米国2年債	2.4764	1.70bp
日経平均	22,088.04	▲ 74.20	米国5年債	2.8216	2.09bp
TOPIX	1,750.79	▲ 0.34	米国10年債	2.9761	1.69bp
シゴ日経先物	22,210	110.00	独10年債	0.6320	4.35bp
ロンドンFT	7,398.87	30.70	英10年債	1.5355	5.65bp
DAX	12,572.39	31.89	豪10年債	2.8645	5.55bp
ハンセン指数	30,254.40	▲ 163.93	USDJPY 1M Vol	7.55	0.91%
上海総合	3,068.01	▲ 3.53	USDJPY 3M Vol	7.79	0.46%
NY金	1,324.00	▲ 14.30	USDJPY 6M Vol	8.17	0.37%
WTI	68.64	0.24	USDJPY 1M 25RR	-0.63	Yen Call Over
CRB指数	200.73	▲ 1.19	EURJPY 3M Vol	7.77	0.29%
ドルインデックス	90.95	0.63	EURJPY 6M Vol	8.29	0.29%

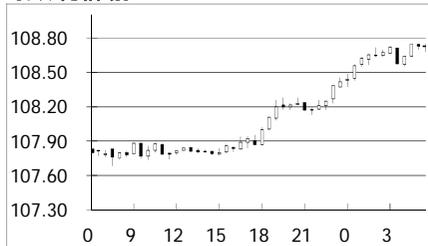
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月23日	16:30	独 マーケットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	4月 58.1/54.1/55.3	57.5/53.9/54.8
	22:45	米 マーケットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	4月 56.5/54.4/54.6	55.2/54.1/-
	23:00	米 中古住宅販売件数	3月 5.60M	5.55M

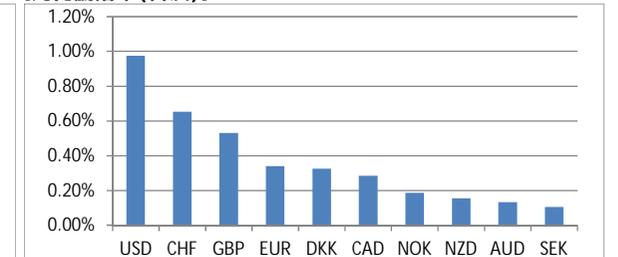
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月24日	10:30	豪 CPI(前期比/前年比)	1Q 0.5%/2.0%	0.6%/1.9%
	10:30	豪 CPI/M平均値(前期比/前年比)	1Q 0.5%/1.8%	0.4%/1.8%
	17:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	4月 102.8/99.5/106.0	103.2/100.1/106.5
	23:00	米 新築住宅販売件数	3月 630K	618K
	23:00	米 コンファレンスホ-ド消費者信頼感	4月 126.0	127.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.30 - 109.30	1.2140 - 1.2240	132.00 - 133.00

【マーケットインプレッション】

昨晩は米10年国債利回りが壁といわれている3%に接近した一方で株価は下落を免れたことからドルが全面高となった。北朝鮮問題で半島情勢が和らぐとの見方があり、またユーロ圏で景気慎重論が浮上しておりドルは対円、対ユーロともに買われやすい状況。本邦で政局が動けば円売りに慎重になる可能性もあるだろうが、それまではドル円も少し上値を這う展開が予想される。

東京	週末に北朝鮮が大陸間弾道ミサイル実験の停止と核実験施設の廃棄を表明したこと等から早朝のドル円相場は堅調推移となり一時107.89まで上昇した後、東京時間のドル円は107.88レベルでオープン。日経平均株価が前日比小幅にマイナスで寄り付き下落幅を拡大する展開となると、ドル円も連れ安となり107.74まで下げる局面も見られたが、その後は目立った新規材料のない中で狭いレンジ内の動きが継続。107.86レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.86レベルでオープン。大手本邦投資家の運用戦略で為替ヘッジを付けないオープン外債の残高を積み増す方針が示唆されると海外勢が買いで反応。米国債利回りが上昇し、ドル指数が7週間ぶりの高値をつけ、ドル円も2月13日以来の高値108.28まで上昇。108.17レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2275レベルでオープン。イン内閣が外貨立ての国家関連データでのユーロの採用を決定したこと等が意識されてか、1.2289まで堅調に推移。しかし独連銀が、月次レポートで製造業が軟化し、2018年第1・四半期の独経済が著しく鈍化した可能性があるとの見方を示すと、1.2225に低下。1.2237レベルでNYに渡った。(ロンドンレポート 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は、108.17レベルでNYオープン。朝方は米4月PMIが予想を上回り、続いて発表の米3月中古住宅件数が予想を上回ったことに加え、黒田総裁のインタビューで、2%のインフレ目標までは長い道のりがあるとの見解を示したこともあり、108.45まで上昇する。その後も米10年債利回りが2014年1月以来の水準まで上昇し、ドルインデックスも100日移動平均線を昨年末以来に上抜ける展開に、ドル円は108.73まで上昇する。その後は一旦108.56まで小緩むが、その後もドル買いが継続し、108.75まで上昇し、108.71レベルでクロスした。一方、ユーロドルはユーロ圏製造業PMIが予想をやや下回り、景気がビークアウトしているとの見方が強まる中、ドルショートカバーも強まり、1.2225まで下落し、1.2237レベルでNYオープン。朝方は、狭いレンジでの推移が続くが、再びドル買いが強まる展開に1.2211まで下落する。午後ドル買いが継続したことから、3/1以来に1.2200を割り込み、一時1.2198まで下落し、1.2209レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:加藤・森谷